

令和4年度学校自己評価システムシート (県立 騎西特別支援学校 北本分校)

e46

目指す学校像	自立や社会参加に向け、心豊かにたくましく生きる力を育て、保護者や地域から信頼される学校
--------	---

重点目標	1 発達段階や教育的ニーズに応じた専門性の高い授業を展開し、自立活動や体験活動を通して児童生徒一人一人の可能性を伸ばす教育を推進する 2 小・中・高の連続性のある進路指導体制を構築し、児童生徒の自立と社会参加に向けたキャリア教育を推進する 3 危機管理の意識を高め、事故防止と緊急時に備えた安心安全な学校づくりを推進する 4 保護者や地域と協働し、開かれた教育課程の実現と児童生徒の豊かな成長を支える学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	開校に向けて、日課表をはじめ、各教科の学習内容をイメージして教育課程を整備してきた。各教科と職業教育のバランスを図りながら、開校初年度の学習指導を充実させていくことが重要である。	年間の各種教育計画と実施の評価 3年間を見通した教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 各種教育計画を全教職員で共有し、指導評価を行い、3年後を見据えた教育課程の検討及び整備を行う。 一般教科と職業教育の関連性を整理し、本校のグランドデザインを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の評価を行い、3年間を見通した教育課程の見直しを行なえたか。 分校グランドデザインを作成することができたか。 		
	GIGAスクール構想に伴う1人1台の端末の整備はまだ十分でない。また、自宅でのオンライン授業に向けて家庭の使用状況調査、学習コンテンツの整備を行うことが急務である。	ICT機器等を有効活用した授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の使用環境を整備し、すべての教科の授業においてICT機器を活用した授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いつでも、どこでも、だれでも」ICT機器を活用した学習、指導ができる環境が整えられたか。 すべての授業でICT機器を活用することができたか。 		
2	開校初年度のためキャリア教育、進路指導に対する共通理解は十分でない。日々の授業実践を共有し、「キャリア教育」に係る共通の指針を検討、策定することが重要である。	「キャリア教育」「職業教育」「進路指導」について教職員間の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> 「キャリア教育」の全体計画を作成する。 「キャリア教育」「就労支援・進路指導」に関して、外部講師等及び自主教員研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導、職業教育、「職業」、各教科等の関連を整理し、キャリア教育の全体計画を作成することができたか。 キャリア教育、就労支援等に関する教員研修を行うことができたか。 		
	在学生の居住地域が広く、実習に向けた情報収集、企業開拓は課題が大きい。	企業情報の収集と実習、進路先企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導主事を中心として、関係各機関、企業と連携し、情報収集を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じた進路指導ができたか。また、現場実習はできたか。 関係機関とや企業と連携し、進路指導における情報収集はできたか。 		
3	分校生徒は県内各地域から公共交通機関を利用し登校しているため、各感染症の感染リスクが高い。早急に校内の各対応マニュアルを作成し、感染防止、感染時の適切な対応に備える必要がある。	各種マニュアルの整備と共に、学校事故防止とその対応に関する教職員の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応マニュアル、感染症に関するマニュアルを整備し、教職員間の共有を図る。 学校全体の危機管理意識を高め、学校事故、感染症拡大を未然に防ぐため、教職員の 	<ul style="list-style-type: none"> 学校事故、感染症等に係る各種マニュアルを作成することができたか。 上記マニュアルを教職員間で共有することができたか。 ヒヤリハット報告を共有し、教職員の危機管理意識を高めることができたか。 		
	開校初年度の学校として、多くの人々に学校を知ってもらう必要がある。さらに、各関係機関、学校、企業等と連携をし、地域と共に教育活動を推進していく必要がある。	情報発信による学校の周知 学校運営協議会をはじめとする、地域と連携した学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページを充実させ、日々の教育活動の情報を積極的に発信する。 学校公開、学校説明会、教員研修等を積極的に開催し、多くの方々に分校を認知してもらう。 学校運営協議会をはじめとして、学校以外の関係機関との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページを随時更新し、分校の教育活動を積極的に発信することができたか。 学校公開、学校説明会等の外部向けの公開の機会を設け、分校の様子を直接知らせることができたか。 学校運営協議会を開催し、外部の方々の意見を学校運営に取り入れることができたか。また、地域との連携を推進することができたか。 学校外の教育的資源、人材を活用し、開かれた授業作りができたか。 		

学校関係者評価
実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等